

議題提案書

【●】協議事項

【 】報告事項

議題名：緊急人道支援分野での事業実施パートナー（I P）契約（日本のNGOと国連機関間の）の増加に向けた取組について

【提案者氏名：松本 浩明（緊急・人道支援課）】

（調整中） 連携推進委員

【議題提案の背景】

緊急人道支援の分野において、日本政府は国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）や国連児童基金（UNICEF）、国連世界食糧計画（WFP）、国連開発計画（UNDP）、をはじめ、多くの国際機関と連携し、支援を実施している。今後、更に日本の支援のプレゼンスを国際社会に示していくために、日本のNGOと国連機関間の事業実施パートナー（I P）契約数の増加に積極的に取り組み、資金の拠出のみならず、支援の実施についても、より「日本の顔が見える支援」を示していくことが重要であると考えます。

現状、緊急人道支援分野における日本のNGOと国連機関のパートナーシップ契約に基づく連携は限定的であると言わざるを得ず、日本の支援のプレゼンスを高めるために、この連携を促進させるために必要な事項につき、改めて問題点や課題を明確化し、如何に改善していくことが出来るかについて話し合いの場を設けることを提案する。

【議題論点】（連携推進委員会で議論したい点）

- ① 直近5年間の日本の主要NGOによるIP契約獲得数の推移とその要因について。
- ② 日本のNGOが国連機関とのIP契約を獲得するために、政府に期待していること。
- ③ IP契約の獲得にあたり、日本のNGOが抱える困難、課題及び問題点につき確認の上、如何にして改善していくことができるか。

【出席を希望する外務省部局または担当者】

外務省国際協力局民間援助連携室

以上